MASPRO

屋外（内）用 BCブースター（家庭用）

BC BOOSTER
増幅チャンネル BS・CS

BCB33N
FM・VUミキサー内蔵

取扱説明書
保証書付

DIGITAL デジタル放送対応

F型端子 **33dB型**

FM・VUミキサーを内蔵したBS・CS帯域を増幅するブースターです。

- BSデジタル放送対応
- スカパー! e2対応
- 2655MHz 対応

スカパー! には使用できません。

BCB33N
増幅部：屋外（内）用

BCB33N
電源部（WP6B）：屋内用
（屋外では使用しないでください。）

MASter of PROduction
生産の覇者

優れた性能と機能

余裕のある高出力
103dBμVの余裕ある定格出力レベルですから，出力端子からのケーブルが長いときでも，障害のないきれいな画像が見られます。

優れたシールド性能
増幅部，電源部とも高周波部分を金属ケースでシールドし，入・出力端子は，F型コネクターを使用していますから，外来電波による妨害を防ぐことができます。

電流通過できるFM・VUミキサー内蔵
FM・VHF・UHF信号を混合するためのミキサーを内蔵していますから，BS・110°CSとFM・VHF・UHFの信号を1本のケーブルで引き込むことができます。また，出力端子からVU入力端子に電流通過できますから，VUまたはUHFブースターを使用することができます。

異常お知らせ機能
増幅部と電源部の間でショートしたり，断線したりした場合，電源部作動表示灯の色でお知らせします。

スマートに設置できる電源部
電源部に収納されている縦置き用スタンドを使用して，テレビラックの空きスペースにも，すっきりと設置できます。

壁面に取付け可能
増幅部と電源部のどちらにも，壁面に取付ける状態で木ネジが収納されていますから，板壁面に簡単に取付けられます。

電源保護回路
増幅部と電源部の間でショートしても，電源保護回路によって，電源部を保護します。

DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は，（社）電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ，UHFアンテナ，受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

DIGITAL デジタル放送対応 各種デジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。

安全上のご注意

ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は，注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容(左図の場合，警告または注意)が描かれています。
	⃠記号は，禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容(左図の場合，分解禁止)が描かれています。
	●記号は，行為を強制したり，指示したりする内容を示しています。 図の中に指示内容(左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く)が描かれています。

⚠警告

●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●ACコードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。ACコードが破損して，火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合(芯線の露出，断線など)，販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●増幅部および電源部のケースを取外したり，改造したりしないでください。また，増幅部および電源部の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。

●増幅部および電源部の内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部を，風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部は，風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり，火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押込む。
- テーブルクロスを掛けたり，じゅうたんや布団の上に置いたりする。
- 布や布団でおおったり，包んだりする。

●電源部に水をかけたり，濡らしたりしないようにしてください。電源部の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が，電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

●雷が鳴出したら，増幅部・電源部およびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。

●増幅部と電源部は，必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと組合わせて使用しないでください。火災の原因となります。

⚠警告

●万一，増幅部および電源部の内部に，異物や水が入った場合，ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災･感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一，増幅部および電源部を落としたり，ケースを破損したりした場合，ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き，煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また，テレビの画像が映らない，音声が出ないなどの症状があるときも，テレビと共に電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。

⚠注意

●増幅部および電源部は，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器の近くなど，油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●増幅部および電源部は，不安定な場所に置いたり，取付けたりしないでください。落下して，けがの原因となることがあります。壁に設置する場合，接着剤やテープなどで取付けないで，壁面取付用木ネジでしっかりと取付けてください。

●増幅部および電源部は，温室やサンルームなどの，高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ACプラグをACコンセントから抜くときは，ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で，ACプラグを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源部を移動させる場合，必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと，火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れは，安全のため，必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間，使用しないときは，安全のため，必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となることがあります。また，ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

●ACコードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して，火災の原因となることがあります。

●雷の発生が予想されるときは，前もって，ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって，火災の原因となることがあります。

●増幅部を取付けるときは，落下防止のため，増幅部や工具を固定物にヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。

●台風や大雪などによって，増幅部のケース･取付金具・マストなどに異常があったり，蝶ナットなどがゆるんだりしていないか，必ず点検してください。また，破損・変形した場合，新しいものと交換してください。そのままにしておくと，ケースや取付金具などの部品が，破損，落下して，けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。

●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをブースターへ接続するときは，テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いてください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると，使用しているテレビによっては，感電の原因となることがあります。

●テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから販売店にご相談ください。

各部の名称と機能

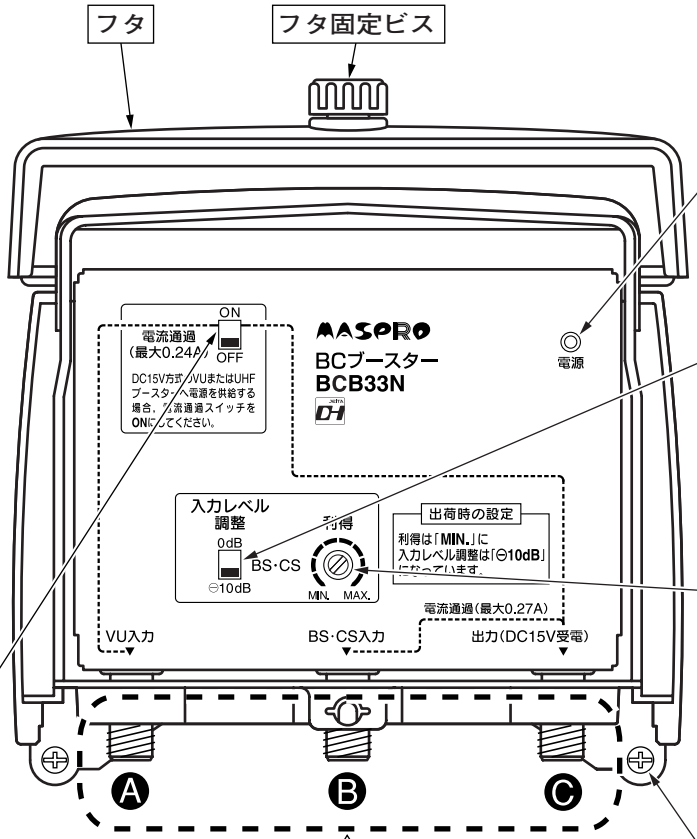
ご注意

- 利得調整を操作するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと，こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると，こわれることがあります。

増幅部

フタの開閉について

- フタを開けるときは，フタ固定ビスをゆるめてから，手前に引上げてください。
- フタを閉めたあとは，必ず手で，フタ固定ビスをしっかりと締付けてください。



電源(増幅部作動)表示灯

増幅部の作動時に「**緑**」に点灯します。

入力レベル調整スイッチ

- BS・CSの入力レベルが低い場合，「**0dB**」にします。
- 出荷時は「**⊖10dB**」になっています。

利得調整

- 利得を0～⊖10dB連続して調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して，定格出力レベルを超えないように調整してください。
- 出荷時は「**MIN.**」になっています。

壁面取付用木ネジ

(左右各1本)
p.6「**取付方法**」をご覧ください。

電流通過スイッチ

- VUまたはUHFブースターを使用する場合，「**ON**」にします。
- 出荷時は「**OFF**」になっています。

ご注意

VUまたはUHFブースターを使用しないときは，必ず電流通過スイッチを「**OFF**」にしてください。
「**ON**」にした状態で，直接，VUミキサーやVHF・UHFアンテナに接続すると，ショートして，故障の原因となります。

Ⓐ VU入力端子

- VU混合入力のケーブルまたはVHF・UHFアンテナからのケーブルを接続します。
- VUまたはUHFブースターを使用する場合，ブースターからのケーブルを接続します。
- VU入力端子を使用しないときは，付属の防水キャップ(小)を取付けてください。

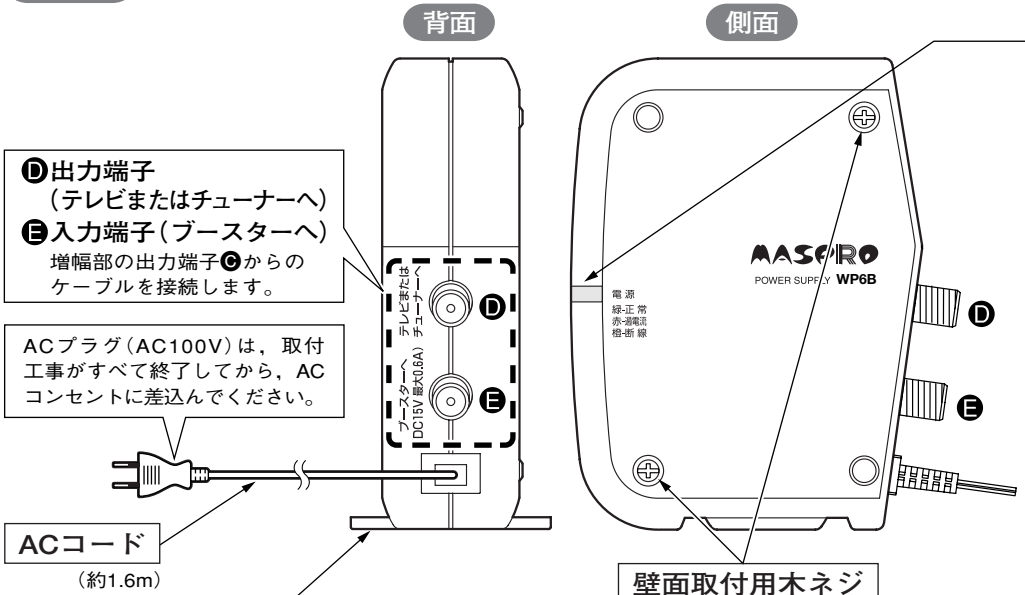
Ⓑ BS・CS入力端子

BS・110°CSアンテナからのケーブルを接続します。

Ⓒ 出力端子(DC15V受電端子)

電源部の入力端子Ⓔからのケーブルを接続します。

電源部



p.6「**取付方法**」をご覧ください。

電源(電源部作動)表示灯

- ACプラグをACコンセントに差込んだときに，電源部の作動状態を表示灯の色でお知らせします。
(異常お知らせ機能)

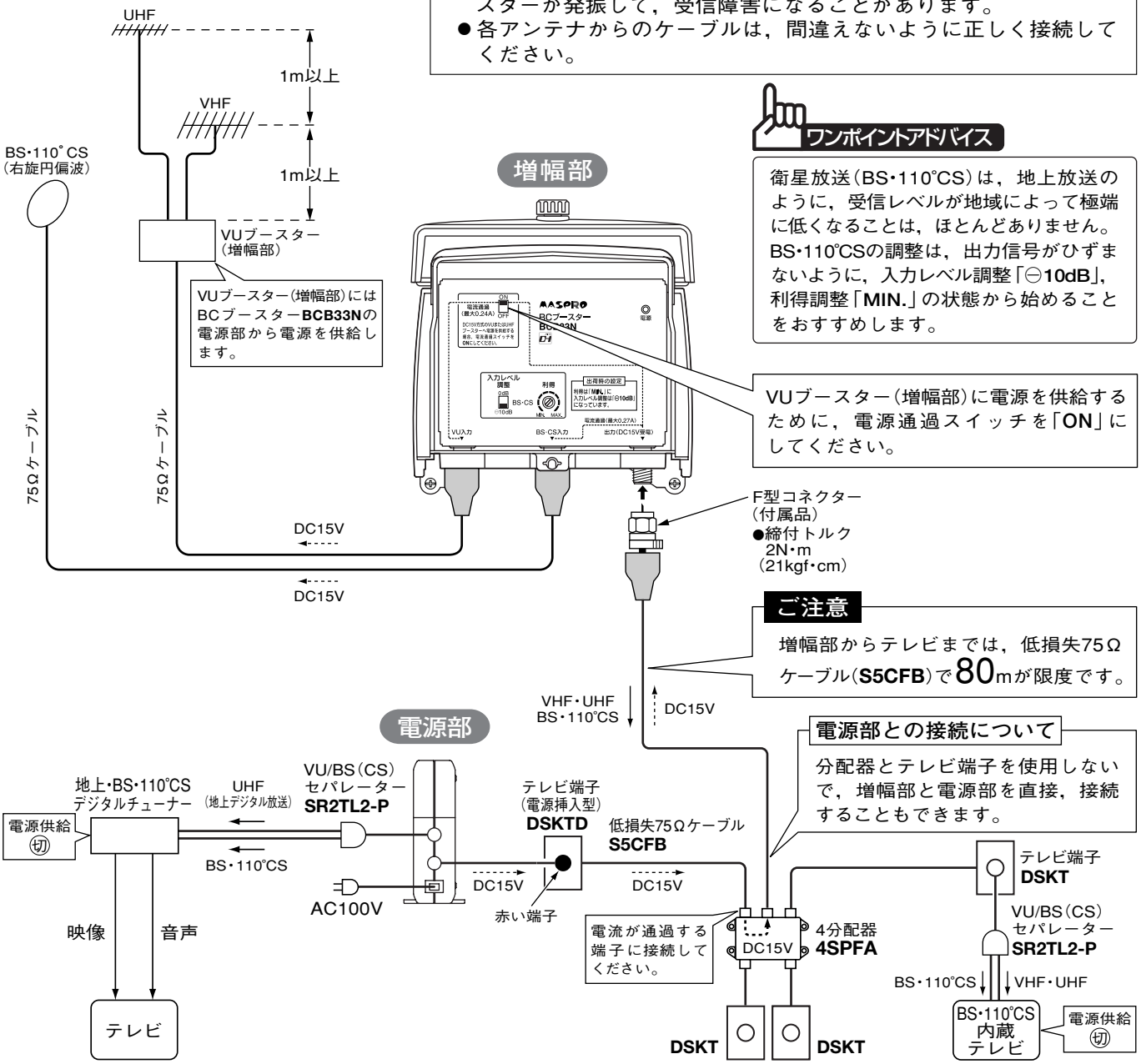
表示灯	作動状態
緑	正常
赤(過電流)	異常
橙(断線)	異常(テレビは見られません)
無灯(ショート)	

- p.7「**異常お知らせ機能について**」をご覧ください。

接続例（増幅部の出力を4分配する場合）

ご注意

- VHFアンテナ，UHFアンテナ，VUブースターは，1m以上離してください。アンテナが接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。また，アンテナとブースターが接近しすぎると，ブースターが発振して，受信障害になることがあります。
- 各アンテナからのケーブルは，間違えないように正しく接続してください。



ワンポイントアドバイス

衛星放送（BS・110°CS）は，地上放送のように，受信レベルが地域によって極端に低くなることは，ほとんどありません。BS・110°CSの調整は，出力信号がひずまないように，入力レベル調整「㊀**10dB**」，利得調整「**MIN.**」の状態から始めることをおすすめします。

ご注意

増幅部からテレビまでは，低損失75Ωケーブル（**S5CFB**）で80mが限度です。

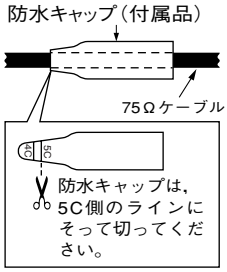
電源部との接続について

分配器とテレビ端子を使用しないで，増幅部と電源部を直接，接続することもできます。

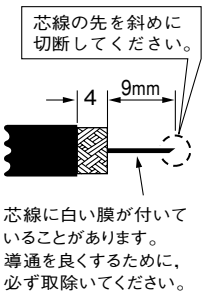
F型コネクターの取付方法

- 接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。
- ケーブルは5Cをお使いください。

①ケーブルを，付属の防水キャップに通してください。

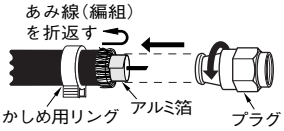


②ケーブルの加工
（加工寸法は原寸大です）



③プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線（編組）を折返してください。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように，アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら，ていねいに押し込んでください。

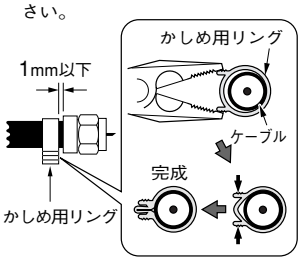


あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線（編組）やアルミ箔の切れ端は，取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり，テレビを見られなくなります。

④かしめ用リングをペンチで圧着

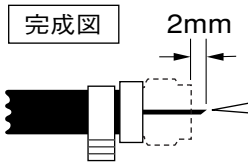
プラグが抜けないように，プラグの根元でしっかりと圧着してください。



芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

完成図



芯線は，まっすぐにしてください。

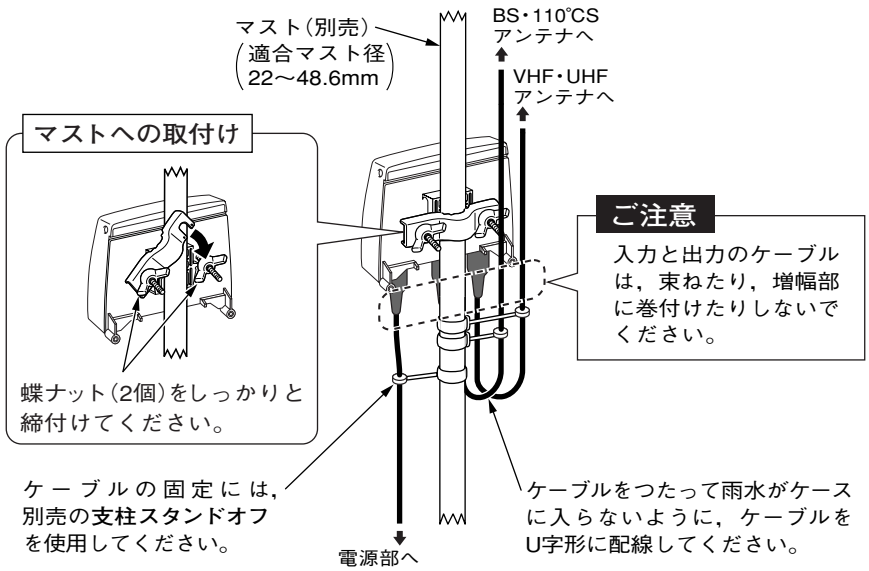
芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

取付方法

増幅部

マスト

マストに図のように取付けてください。

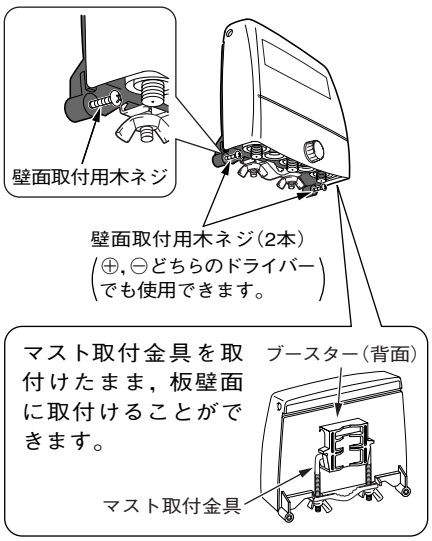


ご注意

入力と出力のケーブルは，束ねたり，増幅部に巻付けたりしないでください。

板壁面

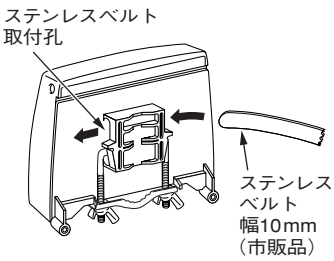
ドライバーで，増幅部に収納されている壁面取付用木ネジを板壁面にねじ込みます。



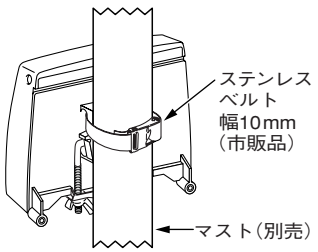
適合マスト径（22～48.6mm）以外のときは

市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。

① 市販のステンレスベルト(幅10mm)を増幅部のステンレスベルト取付孔に通します。



② マストに取付けて，ステンレスベルトをしっかりと締付けます。

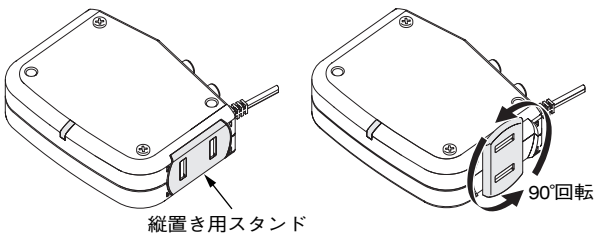


電源部

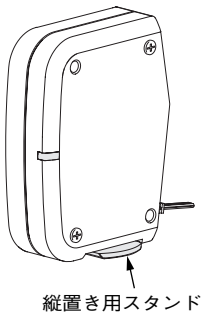
据置き

●縦置き　縦置き用スタンドを使用します。

①縦置き用スタンドを「カチッ」とロックするまで90°回転します。

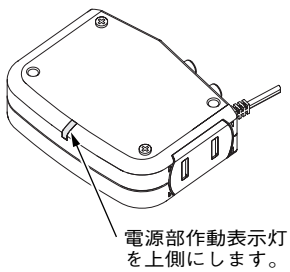


②縦置きにします。



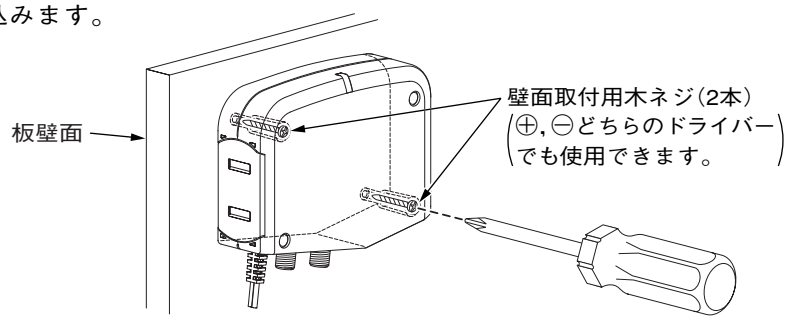
●横置き

縦置き用スタンドを使用しないで横置きにできます。



板壁面

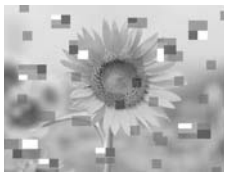
ドライバーで，電源部に収納されている壁面取付用木ネジを板壁面にねじ込みます。



ご注意

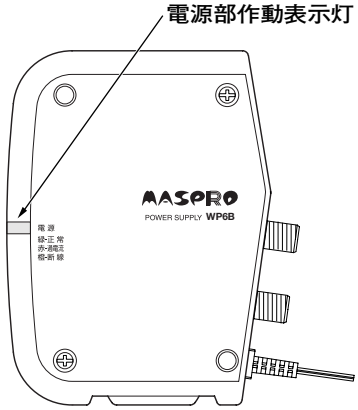
- ●電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ，ラジオと電源部を離してお使いください。
- ●電源部は，温度が上昇しないように，風通しのよい場所に設置してください。また，長期間，ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

きれいなテレビが見られないときは

症状	原因	処置
画像が出ない BS・110°CS（デジタル放送） ●デジタル放送で画面に表示されるメッセージは，一例です。 ●下記「異常お知らせ機能について」もご覧ください。	ケーブル・コネクターの取付け・接続方法が間違っている。	●ケーブルが，入・出力端子に正しく接続してあることを確認してください。
	電源が供給されていない。	●増幅部・電源部の作動表示灯は「緑」に点灯していますか。 （増幅部の出力端子Ⓒまたは電源部の入力端子Ⓔがショートしていると電源保護回路が作動して，作動表示灯が消えます。ACプラグをACコンセントから抜いて，原因を取除き，再度，ACコンセントに差込んでください。） ●増幅部の出力端子Ⓒに，DC15Vが供給されているか確認してください。 （出力端子Ⓒに接続するケーブルのF型コネクターにテスターを接続して確認できます。） ●F型コネクターの芯線が短かったり，芯線にあみ線（編組）やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。 ●各ケーブルが，断線またはショートしていないか確認してください。
画像にモザイク状のノイズが出ている  BS・110°CS（デジタル放送） デジタル放送では，入力レベルが低くても高くても症状は同じで，モザイク状のノイズが出たり，映らなくなったりします。	BS・110°CSアンテナの方向がずれている。	●BS・110°CSアンテナの方向がずれていないか確認してください。ずれているときは，画像を見ながら，ノイズがなくなるようにBS・110°CSアンテナの方向（方位角と仰角）を再調整してください。
	近くにレーダー基地または空港がある。	●近くにレーダー基地や空港があるときは，BS・110°CSアンテナをレーダーなどの電波ビームから外れる低い位置か，建物の陰など，妨害の影響を受けない場所に移動してください。
	BS・110°CSアンテナからの入力レベルが低い。	●入力レベル調整スイッチを「**0dB**」にし，利得調整を㊨へゆっくり回してください。 ●BS・110°CSアンテナからのケーブルをできるだけ短くしてください。
	BS・110°CSアンテナからの入力レベルが高い。	●入力レベル調整スイッチを「**⊖10dB**」にし，利得調整が「**MIN.**」でないときは，利得調整を㊧へゆっくり回してください。

異常お知らせ機能について

●ACプラグをACコンセントに差込んだときに，正常に作動しているか，電源部作動表示灯の色で確認できます。
●電源部作動表示灯が「緑」以外のときは，ACプラグをACコンセントから抜いて，原因を取除き，再度，ACコンセントに差込んでください。



電源部作動表示灯	原因	処置
緑 （正常）	——	——
赤 （過電流）	出力電流が規格値（0.6A）を超えている。	増幅部，BS・110°CSアンテナ，VUまたはUHFブースター以外に，電源が供給される機器が接続されて，過電流になっていないか確認してください。
橙 ※ （断線）	電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。
無灯 （ショート）	電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線にあみ線（編組）やアルミ箔が触れていないか確認してください。 ●増幅部と電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。

※増幅部と電源部を接続しないで，ACプラグをACコンセントに差込むと，断線と判断して，橙の表示灯が点灯します。

ブースターは，正しくお使いください

ブースターは，正しく取付けないとブースターが発振して，ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

- ●入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
- ●入力と出力のケーブルは，束ねたり，増幅部に巻付けたりしないでください。
- ●ブースターの配線は，低損失75Ωケーブル(**S5CFB**)をご使用ください。

デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても，デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらなかったり，下がったりすることがありますが，ブースターの不具合ではありません。
「アンテナレベル」や「受信レベル」は，アンテナの方向調整を目的とした機能で，受信CN比の換算値を表しており，電波の強さを表すものではありません。

規格表

増幅部

MASPRO

項目	規格	
伝送周波数帯域	76～770MHz (FM・VHF・UHF ch.1～62)	1032～2655MHz (BS・CS)
利得	――	26～35dB
通過帯域損失	3dB以下	――
利得偏差 (P/V)	――	6dB以内
入力レベル調整	――	0，⊖10dB切換
利得調整範囲	――	0～⊖10dB以上(連続可変)
雑音指数	――	5dB以下
実用入力レベル	――	45～68dBμV(88dBμV※1)
定格出力レベル	――	103dBμV(24波)
相互変調	――	⊖55dB以下 ※2
VSWR	3以下	2.5以下
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクター)	
使用温度範囲	⊖20～⊕40℃	
電源	DC15V　0.09A(BS・110°CSアンテナ給電時：0.36A)	
外観寸法	135(H)×148(W)×60(D)mm	
質量(重量)	約430g	

※1 利得調整を「MIN.」(利得調整を㊧へいっぱいに回した状態)にし，入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの，最大の実用入力レベルです。
※2 2信号3次ひずみの値です。

電源部(WP6B)

MASPRO

項目	規格
1次電圧	AC100V　50・60Hz
消費電力	3.4W (BS・110°CSアンテナ給電時：8.2W)
出力電圧(電流)	DC15V(最大 0.6A)
入・出力インピーダンス	75Ω(F型コネクター)
挿入損失	2 dB以下(　76～1336MHz) 2.5dB以下(1336～2655MHz)
使用温度範囲	0～⊕40℃
外観寸法	120(H)×36(W)※×100(D)mm
質量(重量)	約250g

※ 縦置き用スタンド幅 51mm

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
保証します。

付属品

F型コネクター(5Cケーブル用)……5個
防水キャップ(大)……3個
防水キャップ(小，VU入力端子用)…1個

BCブースター保証書　MODEL　BCB33N

お客様ご住所

TEL.　　―　　―

★お客様お名前

様

★保証期間(販売店記入欄)

お買上げ日　　年　　月　　日から1年間

★販売店名・住所(販売店記入欄)

TEL.　　―　　―

★印の欄にご記入のない場合，または，販売店の発行した，お買上げ日，販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合，無効になります。
本書は再発行いたしませんから，紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

持込修理

○ 取扱説明書などの注意にしたがった正常なご使用状態で，保証期間中に故障した場合，お買上げの販売店に本製品と本書をご持参，ご提示のうえ，修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。

○ 次のような場合，保証期間中でも有料修理になりますから，ご注意ください。

- ・本書のご提示がない場合。
- ・本書に，お客様お名前，お買上げ日，販売店名の記入のない場合，または，販売店の発行した，お買上げ日，販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
- ・本書の字句を書換えられた場合。
- ・火災，地震，風水害，落雷，その他の天災地変，公害，塩害，ガス害，異常電圧などによる故障および損傷。
- ・ご使用上の誤りによる故障および損傷。
- ・不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・お買上げ後の取付場所の移設，輸送，落下などによる故障および損傷。
- ・他の機器などにより誘発する故障および損傷。
- ・一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
- ・設置工事，施工の不備によって生じた故障および損傷。

○ 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で，無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については，お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは，お客様のご要望により，有料修理いたします。

＝マスプロ電工株式会社＝
本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
営業推進部 TEL名古屋(052)802-2244

見本

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

＝マスプロ電工＝
本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
技術相談
ナビダイヤル® **0570-091119**
固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP・PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時，13～17時 (土・日・祝日，当社休業日を除く)
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp
技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

首都圏(シ)	(03)3499-5632	下　関	(083)255-1130	津	(059)234-0261	前　橋	(027)263-3767
西日本(シ)	(082)230-2359	広　島(支)	(082)230-2351	岐　阜	(058)275-0805	水　戸	(029)248-3870
中日本(シ)	(06)6632-1144	松　江	(0852)21-5341	豊　橋	(0532)33-1500	宇都宮	(028)636-1210
北日本(シ)	(022)786-5062	岡　山	(086)252-5800	静　岡	(054)283-2220		
福　岡(支)	(092)551-1711	松　山	(089)973-5656	松　本	(0263)57-4625	仙　台(支)	(022)786-5060
沖　縄	(098)854-2768	高　知	(088)882-0991	福　井	(0776)23-8153	郡　山	(024)952-0095
鹿児島	(099)812-1200	高　松	(087)865-3666	金　沢	(076)249-5301	盛　岡	(019)641-1500
宮　崎	(0985)25-3877	大　阪(支)	(06)6635-2222	関　東(工)	(03)3499-5631	秋　田	(018)862-7523
熊　本	(096)381-7626	姫　路	(079)234-6669	首都圏電材(営)	(03)5469-5521	青　森	(017)742-4227
長　崎	(095)864-6001	神　戸	(078)231-6111	東　京(支)	(03)3409-5505	札　幌	(011)782-0711
北九州	(093)941-4026	京　都	(075)646-3800	新　潟	(025)287-3155	釧　路	(0154)23-8466
		東　海(工)	(052)804-6262	横　浜	(045)784-1422	旭　川	(0166)25-3111
		名古屋(支)	(052)802-2233	八王子	(042)637-1699		
				千　葉	(043)232-5335	(営)：営業グループ	
				さいたま	(048)663-8000	(シ)：システム営業グループ	
						(工)：工事グループ	

MASter of PROduction
生産の覇者
2K56-506
KG(N)・16-5506-4C